

2001年度総会報告

【日時】 2001(平成13)年5月4日(金) 17:00~18:30(その後懇親会~20:10)

【会場】 茗溪会館 4F 筑波の間(懇親会は新泉の間)

【出席】 荒井義行 内田正人(懇親会欠席) 宇都宮徹尙 鵜木恵介 加納樹里 古藤田信博 笹原勉 澤井和彦 高橋正紀 橋義雄 竹内宏一(代理杉田) 中塚義実 中村淳 宮崎雄司 村林裕(懇親会欠席)

【議決成立要件】 2001年度会員数(総会時) 121名

出席者数 15名、欠席連絡者(=委任状提出者)数 73名、合計 88名で定足数に達した

<目次>

< I > 開催挨拶

< II > 議長の選出

< III > 報告事項 (一部審議)

1. 2000年(平成12)年度事業報告及び決算
2. 2001年度会員募集について

< IV > 審議事項

1. 2001(平成13)年度役員改選について
2. 2001年度事業計画及び予算
3. 規約の検討

< V > 閉会挨拶

I. 開催挨拶

II. 議長の選出

規約に従い、代表者である中塚義実が議長を務める

III. 報告事項 (一部審議)

1. 2000(平成 12)年度事業報告及び決算

資料 1) 2000 年度末役員会報告(2001.3.15 送信資料)

資料 2) 平成 12 年度収支決算書(会計担当：川井寿裕氏より)

資料 3) 2000 年度月例会報告

2000 年度の事業報告は、資料 1) により 3 月期の総会(メール上)で承認された形となっている。ここではあらましを確認し、年度末の決算の部分を資料 2) で確認した。会費収入 420,000 円、預金利息を含めた 420,193 円が総収入。これに対し支出は、名簿制作費(84,000 円)、名簿郵送費 (39,280 円)、ホームページ制作費(105,000 円)、通信費(90,000 円)、フットサルプロジェクト報告書制作費補助(34,000 円)、諸雑費(3,905 円)で、64,008 円の繰越金を残した形で決算した。

2000 年度会費が 2001 年度になってようやく振り込まれるケースがいくつかあったことが、会計担当から大きな問題点として指摘された。本来は会費を払ってはじめて会員なので、このような事態はあり得ないのだが、会員制導入初年度でもあり、2001 年度は厳しく(というより当たり前なのだが)するという条件付きで、2000 年度決算が承認された。未納者に対して、会計担当の川井寿裕氏が本業の合間を縫って何度も催促の連絡をせざるを得なかった事実を記しておきたい。「うっかりミス」もあるだろうが、会員一人ひとりが気にすれば済むことである。ボランティアベースだからこそ、個々の会員の自覚が前提である。

なお資料 3) では、月例会の繰越金 22,400 円が確認され、月例会の運営資金として 2001 年度に繰り越すことが承認された。

2. 2001(平成 13)年度会員募集について

総会時で「約 120 名」の会員である。入会の意思表示のみの方や、会費納入のみの方がいるので、現時点では 2001 年度会員は確定できない。2001 年度は、入会の意思表示があり、かつ会費を納入された方が会員であることを確認したい。

なお、退会(または休会)の意思表示をされた方は、以下の 6 名である。

大場淑子 恩田須美 加藤栄二 須藤正樹 長谷川浩司 畑攻

IV. 審議事項

1. 2001(平成 13)年度役員改選について

「現在の役員にもう 1 期やっていただく」という原案が承認された。いずれも本人の了解済み。

2001 年度役員	
代表	中塚義実
幹事	高橋義雄(代表代行) 鈴木崇正 仲澤 眞 長岡 茂 堀美和子
監査役	笹原 勉

なお、2001 年度の「事務局」として、会計(兼名簿担当)の川井寿裕氏、メーリングリスト管理人として涌田龍治氏が再任された。いずれも本人の了解済みである。ただし、会計・名簿の仕事はかなりの作業を伴うので、会員のサポートを求めたい。

2. 2001 年度事業計画及び予算

資料 4) 2001 年度の「サロン 2002」について

資料 5) プロジェクトの立ち上げ方—フットサルプロジェクト 1 の場合(2000.10.2 送信資料)

資料 6) 「フットサル・プロジェクト 2」について

資料 7) 「ワールドカップ・プロジェクト 1」について

<事業計画(案)> (資料 4) より)

0. 名簿製作 … 会費で作成
1. 月例会 … 参加費で運営。独立採算。
2. プロジェクト … 原則として各プロジェクト独立採算。一部補助は可能
 - 1) フットサルプロジェクト 2(澤井和彦他)
 - 2) ワールドカッププロジェクト 1(笹原勉 竹原典子 中塚義実から提案)
 - 3) その他(現時点ではなし)
3. 合宿と出張 … 合宿は自費参加。出張は補助が出ることもある
 - 1) 出張サロン in 清水(宮城島清也氏より提案あり)

2) 出張サロン in 青梅(杉山裕之氏より提案あり)10月17日(水)14:00～

3) その他(現時点ではなし)

4. 情報発信 … 基本的にボランティアベースで

1) サロン 2002 通信…会員へ向けての情報発信

2) サロン 2002 メーリングリスト…会員相互の情報交換

3) サロン 2002 オフィシャルサイト…外部へ向けての情報発信

以上の事業が承認された。プロジェクトについては、後日別便にてプロジェクトメンバー募集案内が届くので、希望者は積極的に関わってもらいたい。

予算案については、会費収入自体が確定しない状態なので「略案」しか提示できなかった。基本的には前年度並であるが、「ホームページ制作費」がなくなり、「ホームページ管理費」も会員の善意により無償(但し、powered by fcjapan がつく)となること、「総会会場費」を新規項目として立てることが確認された(但し今回の総会に限っては、参加者が会場費を負担することを承知の上で参加しているし、払い戻すことになるのかえってややこしいので、そのまま収入に組み入れ、プロジェクト等の補助にあてることとした)。

3. 規約の検討

従来どおり、月一ペースで行う。会場も筑波大学附属高等学校を「ホーム」とするが、時には場所を変えて開催したい。「出張サロン」ほど遠くはないが、ちょっとしたお出かけぐらいの範囲、たとえば一橋大学や日本女子体育大学、あるいは横浜近辺などが候補地(「お出かけサロン」という名称はいかがでしょうか)。これにより、普段なかなか会うことのできない会員が参加でき、月例会がより身近に感じられる。また、そこでのサロンが定例化することも考えられ、輪が広がるだろう。

V. 閉会挨拶(18:30)

このあと会場を隣室に移して、懇親会。さらにそのあとも続く長い連休の夜であった。